



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月15日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゼットン

コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲本 健一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 森 充

TEL 03-6416-3120

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	3,393	12.8	159	—	136	—	80	—
22年2月期第2四半期	3,007	—	△111	—	△113	—	△92	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	2,067.40	2,025.30
22年2月期第2四半期	△2,393.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	3,124	490	15.7	12,676.61
22年2月期	2,904	413	14.2	10,677.84

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 490百万円 22年2月期 413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	5.0	170	—	150	—	80	—	2,065.74

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料の3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 38,727株 22年2月期 38,727株
② 期末自己株式数 23年2月期2Q ー株 22年2月期 ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 38,727株 22年2月期2Q 38,727株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日～平成22年8月31日)における我が国の経済は、新興国の堅調な需要に支えられ、企業業績に回復の兆しが見られました。しかしながら、デフレや円高基調による懸念、雇用情勢等は、依然として厳しく、予断を許さない状況にて推移いたしました。

外食業界におきましても、消費者の生活防衛意識を背景に、企業間の低価格競争等、依然として厳しい状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループは、「横浜マリニタワー」をはじめ、既存店舗のサービスや料理クオリティの更なる向上、また、ハワイアンブランド「ALOHA TABLE」及び夏季限定店舗の積極的な出店等に注力して参りました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループは「ALOHA TABLE」のフランチャイズ1号店を新規出店いたしました。

店舗数におきましては、当第2四半期連結累計期間末(平成22年8月31日現在)にて、45店舗となりました。

これは、公共施設開発事業において1店舗の新規出店、商業店舗開発事業において7店舗の新規出店(内、2店舗は業態変更)及び2店舗の閉店によるものであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,393百万円(前年同期比12.8%増)、営業利益は159百万円(前年同期は営業損失111百万円)、経常利益は136百万円(同経常損失113百万円)、四半期純利益は80百万円(同四半期純損失92百万円)となりました。

事業の戦略事業別の業績は次のとおりであります。

① 公共施設開発事業

「ガーデンレストラン徳川園」、「THE TOWER RESTAURANT NAGOYA」、「GARLANDS」等の大型店舗におけるブライダル事業をはじめ、平成22年6月に、大阪府大阪市北区の中之島公園内に出店いたしました「Riverside Grill & BEER GARDEN」、また、前第2四半期連結累計期間に出店いたしました「横浜マリニタワー」が好調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は1,617百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

② 商業店舗開発事業

平成22年3月に、神奈川県横浜市中区のColette Mareみなとみらい1Fに「MANOA ALOHA TABLE」を、平成22年5月に、東京都港区南青山にオープンしたFrancfranc 1Fに「PACIFIC COAST HOUSE」、「Good Days Malasada」、「AOTAKO」を、平成22年6月に、東京都中央区銀座に「gindachi」を新規出店するとともに、平成22年6月に「M&L Aloha Table Hawaiian Eata」(旧 ZETTON ebisu)、平成22年7月に「LUAU Aloha Table with Gala Banquet」(旧 zetton ODEON)をリニューアルオープンいたしました。

また、夏季限定店舗が当初予想を上回って推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は1,773百万円(同13.0%増)となりました。

③ プランニング&コンサルティング事業

グラフィックデザインの制作、コンサルティング等により、当事業における売上高は2百万円(同79.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ220百万円増加し、3,124百万円となりました。これは主に、売掛金が129百万円増加したこと、現金及び預金が43百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ142百万円増加し、2,633百万円となりました。これは主に、有利子負債が118百万円減少するものの、買掛金が98百万円増加、未払金が69百万円増加、未払費用が43百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、490百万円となりました。これは主に、利益剰余金が78百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、長期借入金の返済による支出、有形固定資産の取得による支出、売上債権の増減額等の資金減少要因を、税金等調整前四半期純利益、その他流動負債の増減額、減価償却費、長期借入れによる収入、仕入債務の増減額等の資金増加要因が上回った為、前連結会計年度末に比べ、44百万円増加の516百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、361百万円（前年同期は41百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益152百万円、その他流動負債の増減額150百万円、減価償却費116百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、144百万円（同697百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出161百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、163百万円（同790百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出193百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績におきましては、前回予想（平成22年4月14日公表）を上回って推移いたしました。

今後の業績予想におきましては、平成22年10月1日に公表いたしました上方修正から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出しております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	524,885	480,905
売掛金	229,093	99,124
商品	1,071	1,161
原材料及び貯蔵品	69,614	63,205
前払費用	52,696	35,832
繰延税金資産	15,209	34,218
その他	26,931	9,872
貸倒引当金	△1,994	△1,402
流動資産合計	917,508	722,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,451,381	1,424,198
工具、器具及び備品（純額）	171,471	165,073
リース資産（純額）	119,587	88,532
建設仮勘定	749	37,268
その他（純額）	347	426
有形固定資産合計	1,743,538	1,715,499
無形固定資産	34,924	39,900
投資その他の資産		
投資有価証券	3,100	3,100
出資金	1,010	1,010
長期前払費用	4,739	5,112
差入保証金	306,166	302,192
繰延税金資産	113,458	114,306
その他	278	685
投資その他の資産合計	428,754	426,406
固定資産合計	2,207,216	2,181,806
資産合計	3,124,725	2,904,724

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	392,718	293,856
短期借入金	—	60,000
1年内返済予定の長期借入金	340,374	352,923
リース債務	30,627	21,498
未払金	214,451	144,604
未払費用	210,694	166,718
未払法人税等	58,007	8,162
未払消費税等	34,613	23,831
前受金	64,219	62,963
その他	26,081	39,866
流動負債合計	1,371,786	1,174,423
固定負債		
長期借入金	1,154,782	1,235,664
リース債務	97,853	72,314
その他	9,376	8,802
固定負債合計	1,262,011	1,316,780
負債合計	2,633,798	2,491,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,890	330,890
資本剰余金	253,093	253,093
利益剰余金	△47,931	△126,398
株主資本合計	536,052	457,585
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△45,125	△44,065
評価・換算差額等合計	△45,125	△44,065
純資産合計	490,927	413,520
負債純資産合計	3,124,725	2,904,724

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	3,007,911	3,393,688
売上原価	883,484	1,012,767
売上総利益	2,124,427	2,380,921
販売費及び一般管理費	2,236,425	2,221,627
営業利益又は営業損失(△)	△111,998	159,293
営業外収益		
受取利息	950	491
協賛金収入	14,657	5,843
その他	3,814	2,064
営業外収益合計	19,422	8,399
営業外費用		
支払利息	15,906	21,583
為替差損	4,085	7,348
その他	894	2,476
営業外費用合計	20,886	31,408
経常利益又は経常損失(△)	△113,462	136,285
特別利益		
固定資産売却益	4,342	15,018
貸倒引当金戻入額	—	998
特別利益合計	4,342	16,016
特別損失		
固定資産除却損	493	193
特別損失合計	493	193
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△109,614	152,108
法人税、住民税及び事業税	3,003	52,187
法人税等調整額	△19,922	19,857
法人税等合計	△16,918	72,044
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92,695	80,064

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	1,647,562	1,824,426
売上原価	466,464	535,951
売上総利益	1,181,098	1,288,475
販売費及び一般管理費	1,157,355	1,176,031
営業利益	23,742	112,443
営業外収益		
受取利息	805	393
協賛金収入	3,278	3,612
その他	3,115	866
営業外収益合計	7,199	4,873
営業外費用		
支払利息	8,679	10,400
為替差損	3,489	8,328
その他	56	1,405
営業外費用合計	12,226	20,134
経常利益	18,716	97,182
特別利益		
固定資産売却益	4,342	—
特別利益合計	4,342	—
特別損失		
固定資産除却損	267	193
特別損失合計	267	193
税金等調整前四半期純利益	22,790	96,988
法人税、住民税及び事業税	1,416	28,836
法人税等調整額	22,259	14,520
法人税等合計	23,676	43,356
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△885	53,631

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△109,614	152,108
減価償却費	120,351	116,663
のれん償却額	1,836	1,771
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,759	591
受取利息及び受取配当金	△950	△491
支払利息	15,906	21,583
為替差損益(△は益)	4,085	7,348
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,342	△15,018
固定資産除却損	493	193
売上債権の増減額(△は増加)	△108,512	△129,778
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,268	△6,060
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△34,481	△30,965
仕入債務の増減額(△は減少)	99,257	98,861
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,603	11,736
その他の流動負債の増減額(△は減少)	146,288	150,312
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△362	5,840
その他	15,439	4,993
小計	101,283	389,690
利息及び配当金の受取額	922	488
利息の支払額	△15,682	△21,255
法人税等の支払額	△45,512	△6,959
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,011	361,964
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△760,076	△161,118
有形固定資産の売却による収入	81,835	22,050
無形固定資産の取得による支出	△30	△500
出資金の払込による支出	△1,000	—
貸付けによる支出	△600	△300
貸付金の回収による収入	815	1,065
差入保証金の差入による支出	△21,385	△22,694
差入保証金の回収による収入	3,011	17,284
その他	△569	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△697,999	△144,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△35,000	△60,000
長期借入れによる収入	995,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△162,936	△193,431
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,297	△10,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	790,766	△163,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,243	△9,924
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,022	44,045
現金及び現金同等物の期首残高	281,138	472,780
現金及び現金同等物の四半期末残高	421,161	516,825

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。